

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様には平成 30 年の新春を爽やかにお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

輝かしい新年を迎えて、気持ちも新たに職員と共に村政に取り組んで参りたいと存じます。

さて、平成 30 年度の予算案については、3 月の議会定例会に提案すべく、現在編成作業中ではありますが、予算編成方針として定めた一部を新年の豊富として記します。

はじめに、現在設計を進めております医療福祉ゾーンの整備計画のうち、第 1 次計画となります診療所と老人福祉施設の新設移転工事を完成する年になります。皆様に施設を利用いただけるようになるのは平成 31 年の後半になると思いますが、その前に皆様の建設事業への関心を深めていただけるよう、今年から色々な取り組みを計画して参ります。

次に、産業面では何と言っても白川茶の産地としてどのような対策が必要なのか、その方向を決めなければならない時期になったという認識であります。

林業振興では、平成 29 年度から着手しました百年の森構想樹立事業を進めて参ります。また、木材の生産販売はもちろんのこと、美しい水や空気を守る機能や観光としての活用など、東白川村の山林の持つ様々な価値を経済的価値に換えていく仕掛けを皆さんと共に考え、実行します。また、地方創生戦略で取り組んでいるフォレストスタイル事業やマルシェ事業、東白川村フレッシュ便事業、木材関連産業の後継者対策事業などを継続して実施していく所存です。

そして情報過疎地にならないため、将来のテレワークやサテライトオフィスなどの事業展開もできるように、全村を光ファイバーでつなぐ超高速ブロードバンド化事業を実施する計画を進めてまいります。

また、今年はずちのごフェスタが 30 回の記念すべき年になります。毎年参加者が増えてきて、昨年は 2,900 人と村の人口を超える参加者となりました。マスコミでも多く取り上げられ、村の知名度アップに大きく貢献するイベントとなっており、今年も村民挙げてのご協力をお願いしてまいりたいと思います。

教育振興の面では、保育料の無料化や奨学金の返済支援、高校への通学支援制度などを継続するとともに、ハード面では教育現場の IT 化への支援策やはなのき会館の大規模改修などを予定しています。

この他、皆様の生活に密着した村道等の改良促進、簡易水道の整備と管理、公共交通の体系の見直し、災害に強い村づくり、官民協働の住民参加型村政の推進などを着実に前進させたいと思っております。

「日本で最も美しい村」連合の理念に基づく村づくりを基本に、総合計画の目標に掲げている「**人が輝く 地域力のある村 東白川村**」の実現を目指して邁進してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとって素晴らしい年になりますようお祈り申し上げまして新年のご挨拶と致します。

平成 30 年 1 月

東白川村長 今井俊郎